

第 45 回日本診療情報管理学会学術大会 第 2 回実行委員会報告書

日 時： 2018 年 8 月 27 日（月） 17：00～19：00
場 所： 大阪医療福祉専門学校 8 階
出席者： 大会長 齊藤 正伸
委員長 副大会長 入江 真行、佐野 博之、武田 理宏
プログラム委員 橋本 昌浩
実行委員長 金子 大記
委 員 池田 健士、上田 郁奈代、奥村 峰和、小林 智彦、佐々木 美幸、
田中 龍也、高村 松世、平位 健治、藤田 亮平、福森 亮介、
本田 耕一郎、細井 洋子、松本 吉史、美馬 信夫、宮本 浩樹、
村原 暁子、森藤 祐史、湯浅 美智留、和田 鈴香
実行事務局 島田 裕子
学会事務局 横堀 由喜子、西川 幸一

以上敬称略 28 名

経 緯：

近畿病歴管理セミナーとして、第 45 回日本診療情報管理学会学術大会運営実行を担う打診が 2016 年にあり、同年 10 月に受諾審議をおこなった結果、幹事 31 名満場一致(一任含む)で受諾の意向が確定した。2017 年 3 月開催の 50 周年記念セミナーの場で、日本病院会 堺常雄前会長と日本診療情報管理学会 末永裕之理事長より今団体齋藤 正伸会長に依頼の挨拶がなされた。

これを踏まえ 2017 年 4 月学会事務局担当者与会場選定をおこない諸事確認にて、2019 年 9 月 19、20 日会期 グランフロント大阪が確定された。しかし今年 2018 年 4 月、費用高額のため学会事務局にて会場見直しとなされるも日程・規模等の条件に見合う会場なく 6 月に手付金が振り込みされた。その後 7 月になって、日程をずらし開催地も広く見直して再検討の指示が学会側よりあり、実行委員会よりグランフロント、グランキューブ、国際交流センター、神戸コンベンションセンターの空き状況および費用比較を提示した。諸事確認の上、グランフロントでの開催と確定となった。

議 事：

金子実行委員長の進行にて協議をおこなった。学会事務局横堀部長より会場費が高額のため費用削減のための提案について説明がなされた。

- ・機材や人員、垂れ幕などの費用は、例年利用している業者を使い実行委員会委員で担って補う
- ・懇親会会場をグランフロント以外で企画し華美にしない
- ・コングレバックおよびスタッフ T シャツの作成はしない

1. 営業活動の進捗について

趣意書が確定され 8 月 20 日実行委員会に共有された。営業活動の状況を事務局に報告することが周知された。ランチョンセミナー協力企業の獲得を働きかけていく
過去、協賛いただいた企業に連絡をすることを目的に学会事務局から情報提供いただく

2. 講演会、シンポジウムについて(別紙参照)

それぞれ 3,4 枠企画する
現在、講演 1 企画のみ確定

3. ポスター作成について(別紙参照)

- ・講演・シンポジウム企画が進んでいないので会期広報と企画内容も広報するものと分けてデザイン検討していく
- ・提案にあった近畿地図を大阪城に変更し、近畿病歴管理セミナーの名前を大きく掲載する

4. 懇親会について

参加費、例年の 7000 円が高いことから削減企画の提案が学会事務局よりなされた

- ・移動してでも安価企画の検討が提案されるも現実的ではないことから、学会会場近隣で検討する
- ・参加費額は安価で企画できる場合は変更も検討する

- ・参加者や招待者数の見込みについて、約 400 名うち招待者については学会事務局からの指示を仰ぐこととする(日本病院会および学会理事関係者や協賛企業の招待)
- ・懇親会費免除者への学会本体からの補填もあるが、イベント企画など無理に企画せず華美にならないよう費用削減し検討する

5. その他

費用削減対策として下記のことが学会事務局から提案された

- ・学生ボランティアを無くし、実行委員会で担う
どのような業務が必要なのか不明であり、担える業務は補っていくこととする
- ・実行委員会も Web 会議を検討する
Web 会議も検討し、会議に係る費用を削減する

会期中の座長等へのお礼品について

法人内部者への提供は不要だが、外部者へは準備が必要。クオカードなどで簡易かつ安価の品で検討する

会場割振り(案)について

懇親会に使用予定としていた C 会場は、近隣で検討することにより会場展開の必要がなくなった。1 日目から A、B、C と分割し会長および理事長講演などを中継運営することで 2 日間の会場展開費用を削減できるとの提案があり承認された

以上
報告者：運営実行委員会事務局 島田